



研究テーマ

- 1 消費者視点を重視した農産物のマーケティングに関する研究
- 2 農業事業体の経営管理に関する研究
- 3 農業に関連した地域資源の保全と利用



西 和盛

にし かずもり
地域資源創成学部
地域資源創成学科
食料・農業経済学
研究室

教授

キーワード

農林複合経営、茶業経営、
農業への企業参入、消費
者行動、農業人材育成、農
産物直売所

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

農業経営に関わる分野が専門領域になります。農家や農業関連の経営体の意思決定を中心とした農業経営管理に関する研究をおこなっています。

特に、消費者視点を重視し、消費者行動を分析することで農業経営戦略に活かすことを目指しています。

近年は、中山間地域における農林複合経営の実態と課題の解明にも取り組んでいます。

他にも、茶業経営、農業への企業参入、農業人材育成、農産物直売所の組織デザイン、都市農業といった研究テーマに取り組んできました。

1 消費者視点を重視した農産物のマーケティングに関する研究

日本では、全国各地で飲茶の習慣が根強く残っていますが、近年は急須で淹れるためのいわゆる「リーフ茶需要」が減少傾向にあります。リーフ茶需要の減退は、農家所得の減少にもつながっていきますので、需要を喚起・創造することは重要な課題です。消費者が緑茶をどのように購買・消費するかを解明することで、生産側の茶業経営がどのような販売戦略をもつべきか、のヒントになるような研究を行っています。

類似の研究は、コメや青果物、あるいは農産物直売所の経営戦略や販売戦略でも行ってきました。消費者行動の分析には、統計的手法を用いており、幅広いテーマに応用が可能です。

2 農業事業体の経営管理に関する研究

経営管理に関する要素は数多くありますが、人材育成について紹介します。これまで、農業における人材育成と言えば、長い年月をかけて親から子へと継承していくものがほとんどでした。しかし、近年は、農業に慣れ親しんでいない人の就農が多くみられます(たとえば、非農家の子弟が法人に就農、UIJ ターンによる就農、企業の農業参入など)。そのため、農業人材育成は、これまでよりも速いスピードで体系的かつ効率的に行われる必要がでてきました。こういった新しい農業人材育成の動向や課題を明らかにする研究を行っています。

他にも、キーワードとしては、茶工場再編、農産物直売所の組織デザイン、業務加工用野菜の契約取引、GAP などに関わる研究を行ってきました。

3 農業に関連した地域資源の保全と利用

2015 年に FAO から世界農業遺産に認定された地域(高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村)において、いくつかの研究を行っています。ひとつは、釜炒り茶の残存要因に関する研究です。もうひとつは、この地域に特徴的な農林複合経営の意義に関する研究です。いずれも、日本ではかつて全国的にみられた作物であり経営形態ですが、これが現代でも残っているのはなぜなのか、その要因について明らかにしたいと考えています。

他にも、企業の農業参入や都市農地に関する研究などを行ってきました。

ホームページ

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/atrium/>

技術相談に応じられる関連分野

- ・共同研究の希望テーマ: マーケット適的な茶業経営戦略に関する研究
- ・「食について消費者ニーズを把握してみたい」というニーズがあれば、御連絡ください。
- ・茶業を活用した地域活性化を考えられている自治体等があれば御連絡ください。

メッセージ